

直播栽培はお任せください！ 水稲「上育471号」

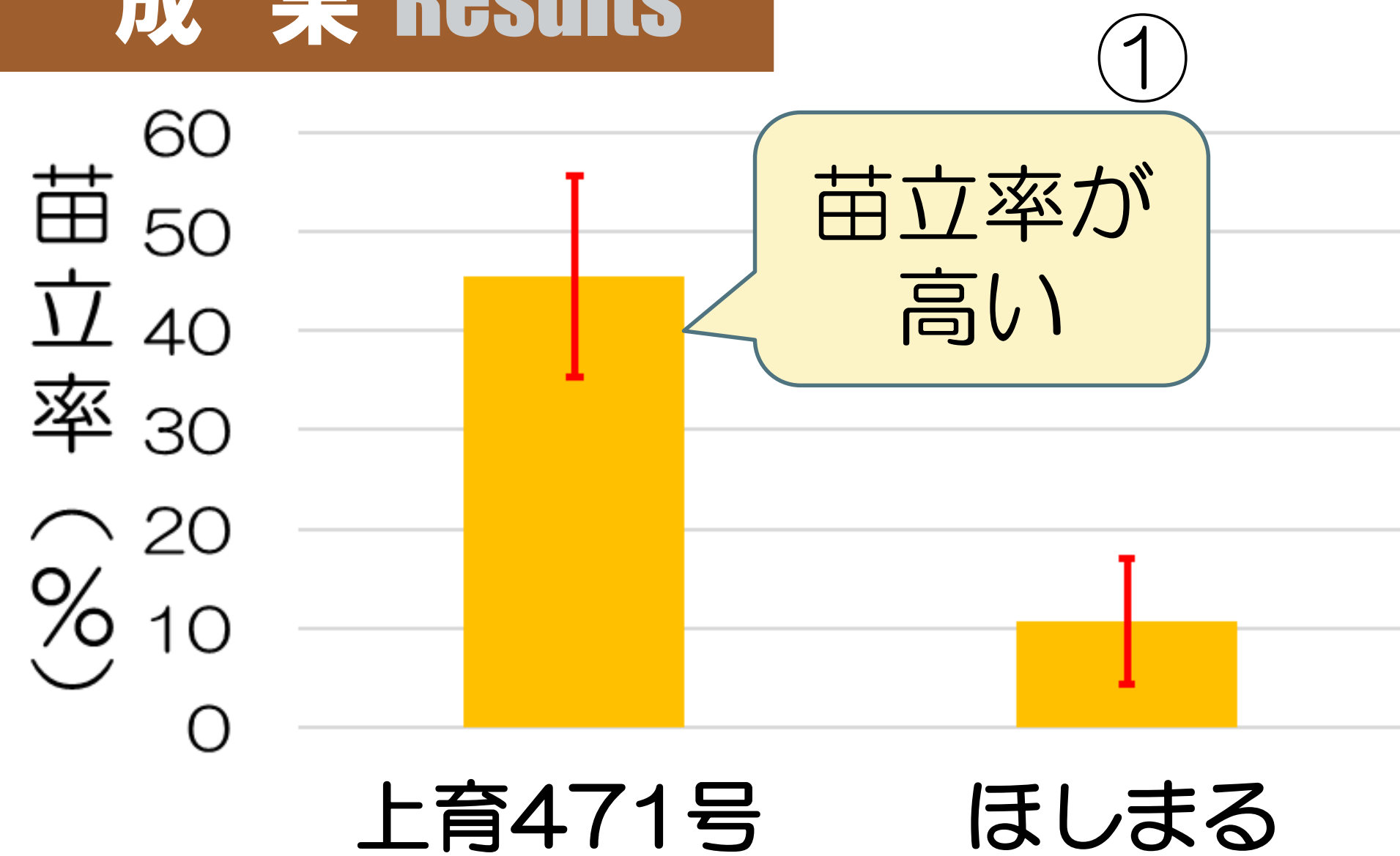
概要 Abstract

- 特徴：「ほしまる」に比べて
- ①低温苗立性が優れる。
 - ②いもち病圃場抵抗性が強い。
 - ③玄米品質が優れる。
 - ④収量がやや多い。



水田での苗立と生育の様子

成果 Results



低温苗立率の比較（室内検定）

（低温条件（13-14℃）での苗立率：低温苗立性検定、平成24～29年）

出芽の揃いが早くなる

- 除草剤を適切な時期に施用できる。
- 落水期間短縮で肥料の損失を少なくできる。
（平成23年度北海道農業試験会議（成績会議）資料
「「ほしまる」の水稲湛水直播栽培指針」より。）



穂いもち圃場抵抗性検定の様子

いもち病にかかった穂（罹病穂）が少ない

③
腹白や乳白等の未熟粒が少ない



玄米の比較（平成29年、上川農試産米）

④
特に道北道央地域で玄米重（収量）が多い

直播栽培での玄米重(kg/a)の比較

地域	全箇所	道北道央
上育471号	54.4	57.6
ほしまる	53.4	55.4
対ほしまる比率	102	104

注) 平成27-29、普及見込み地帯の農試と現地の平均値。

普及 Dissemination

適地：【直播栽培】上川、留萌、空知、石狩、後志、渡島、檜山各振興局管内の「ほしまる」の湛水直播栽培適地に準じた地域
 【移植栽培】オホーツク、上川、留萌、空知、石狩、後志、胆振、日高、渡島、檜山各振興局管内

普及見込み面積：北海道 1,000ha

対照品種：「ほしまる」の全て

連絡先 Contact

上川農業試験場
 研究部 水稲グループ
 0166-85-2200
 kamikawa-agri@hro.or.jp

本成果は、農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業により得られたものです（27031C）。